

クレジット化までの手続きについて

2024 年度 JCM 活用による脱炭素投資セミナー
～官民連携によるネットゼロへの加速～

2025年3月



公益財団法人地球環境センター(GEC)

1. JCMの手続き

1. PIN(Project Idea Note)の異議の有無の確認
2. 方法論の承認
3. プロジェクト登録
4. クレジット発行

2. JCMの手続きは政府資金支援の有無によらず同じ

3. JCMの手続きの主な追加・変更点

1. PIN手続きの追加
2. 方法論のコンセプトにパートナー国のNDCへの貢献を追加
3. プロジェクト登録時にクレジット配分書を提出
4. プロジェクト登録時にリファレンス排出量評価書を提出
※適用方法論or排出削減量のJC承認日から5年以上経過時
5. プロジェクト登録／クレジット発行時に持続可能な開発(SD)の計画／報告が必要
6. プロジェクト登録後、プロジェクト実施報告書を毎年提出



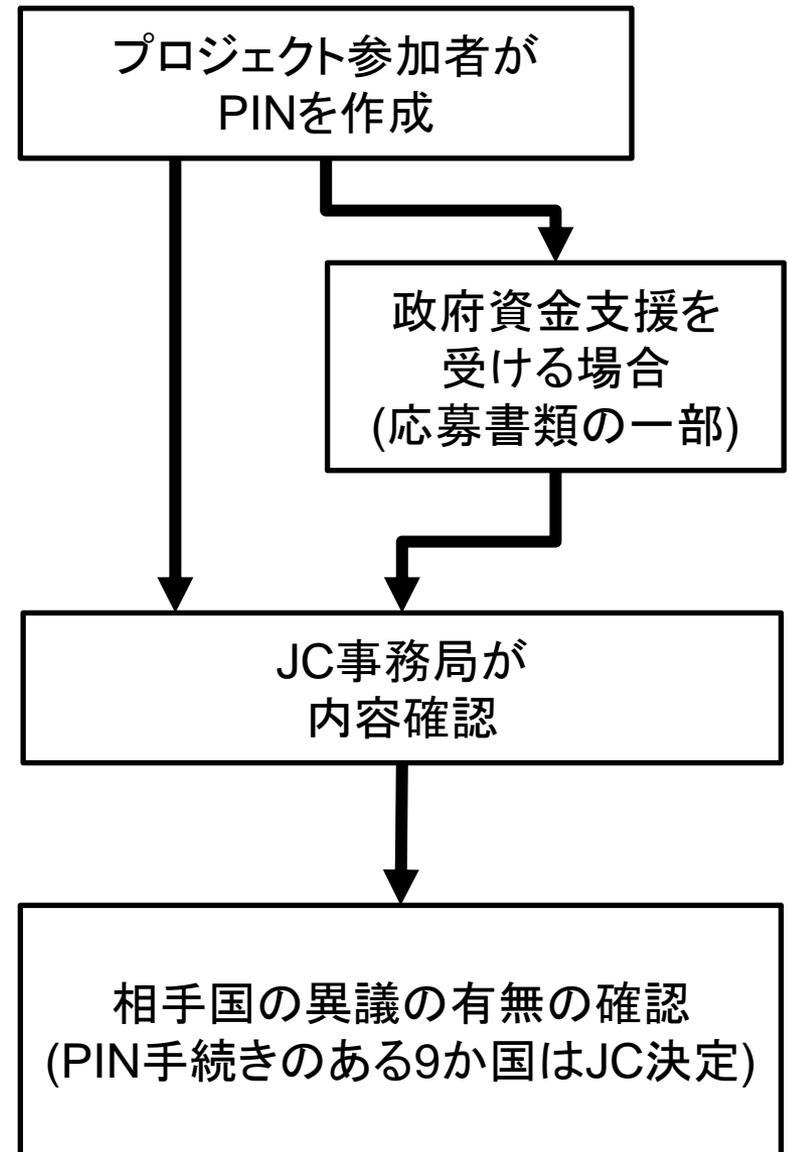
<用語解説>

- **PIN (Project Idea Note)**: プロジェクトの概要を相手国側へ説明し、異議の有無を確認するための資料。
- **PDD (Project Design Document)**: 排出削減量のモニタリング方法・推定排出削減量等を含めたプロジェクト設計書。プロジェクト登録に必要となる。

<注>

最初の2つの手順「PINの提出」・「異議の有無の決定」については各パートナー国と調整中のものであり、これらを含む各パートナー国と採択したJCM規則・ガイドライン類の最新情報については、JCMホームページの各パートナー国のページにてご確認ください。

- JCMプロジェクトとしての予見可能性を高めるために、PINを送付して相手国の理解を得る。
- 政府資金支援を受けないプロジェクトについて事前相談が可能。
- 政府資金支援を受ける場合は応募書類の一部として提出する。
- JC事務局が内容を確認する。
(必要に応じて日本政府各省庁に共有)
- 相手国の異議の有無を確認



- プロジェクト参加者または政府が、ガイドライン及び様式に沿って方法論を作成、提出
- 事務局による確認後、JCMウェブサイトで公開され、パブリックコメントを実施
- 合同委員会が方法論を承認
- 6条ルール対応国では、方法論開発のコンセプトに「パリ協定に基づくパートナー国の最新の国別目標(NDC)の達成への貢献」が追加。

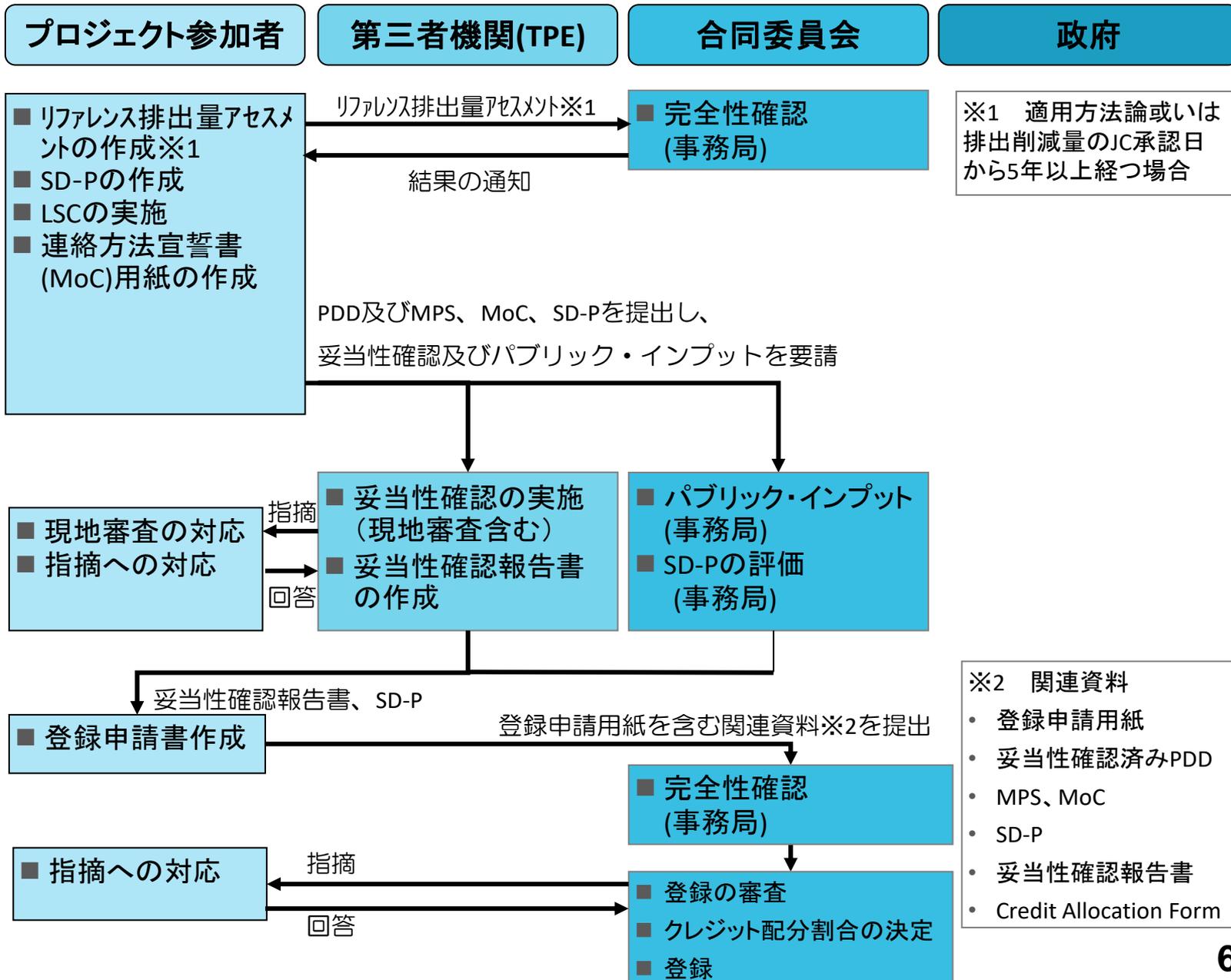
<インドネシアの例 https://www.jcm.go.jp/jc_decisions/2355/JCM_ID_GL_PM_ver03.0_track.pdf >

3. Key concepts

3.1. Reference emissions

7. In the JCM, emission reductions to be credited are defined as the difference between reference emissions and project emissions.
8. The reference emissions are calculated to be below business-as-usual (BaU) emissions, either by discounting BaU emissions or by other methods determined in the methodologies to be approved by the Joint Committee.
9. The reference emissions are established in a manner that the proposed project contributes to the achievement of the latest nationally determined contributions of the Republic of Indonesia under the Paris Agreement.

3. プロジェクト登録



※1 適用方法論或いは排出削減量のJC承認日から5年以上経つ場合

※2 関連資料

- 登録申請用紙
- 妥当性確認済みPDD
- MPS、MoC
- SD-P
- 妥当性確認報告書
- Credit Allocation Form

プロジェクト登録申請前の実施事項(Pre-registration activities)

- リファレンス排出量の妥当性を評価
 - 適用方法論或いは排出削減量のJC承認日から5年以上経つ場合はリファレンス排出量の妥当性を評価し、妥当な場合はリファレンス排出量アセスメントを提出、妥当でない場合は改定方法論を提出
 - PDD、MPS、MoC、持続可能な開発の計画(SD-P)をJC事務局及びTPEに提出
 - JC事務局によるパブリックインプットの実施
 - TPEによるバリデーションの実施
 - SD-PについてJC事務局からポジティブな評価を得る
- ※SD-P: Sustainable Development Implementation Plan

プロジェクト登録申請時の提出書類

- プロジェクト登録申請書
- 妥当性確認済みPDD、MPS、MoC
- 妥当性確認報告書
- 持続可能な開発の計画(SD-P)
- クレジット配分書(Credit Allocation Form)

プロジェクト参加者はPDD、モニタリングプランシート(MPS)、MoCを作成
PDD作成にあたって、LSC(Local Stakeholder Consultation)が必要

PDDの項目

- 1) プロジェクト及び技術概要
- 2) プロジェクト住所
- 3) プロジェクト開始日及び期間
- 4) クレジット期間及び開始日
- 5) 日本からの貢献
- 6) 排出削減量
- 7) モニタリング図・体制
- 8) LSCの結果
- 9) 環境影響評価 (EIA) の有無等

JCM ID: F_PDD_v01.0

JCM Project Design Document Form

A. Project description

A.1. Title of the JCM project

A.2. General description of project and applied technologies and/or measures

A.3. Location of project, including coordinates

Country: _____
Region/State/Province etc.: _____
City/Town/Village etc.: _____
Latitude, longitude: _____

A.4. Name of project participants

Title: _____
Republic: of _____
Japan: _____

A.5. Duration

Starting date of project operation: _____
Expected operational lifetime of project: _____

A.6. Contribution from developed countries

モニタリングプランシートの項目

- 1) モニタリングプラン
想定される活動量、排出係数等のパラメーターを入力
- 2) モニタリング実施体制

(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)
Monitoring activity ID	Parameters	Description of data	Estimated values	Units	Monitoring method	Reporting date	Measurement methods and procedures	Monitoring frequency	Other comments
(1)	EEU	Total quantity of the electricity generated in the project during the period	0.00	MWh/yr	Option C	Measured data	The AC output of the inverter is measured to determine the amount of AC electricity generated by the power system. The reading is taken from an electricity meter or the inverter. The reading is taken manually or automatically using a data logger. The electricity meter is certified by an entity accredited under international standards. The electricity meter is replaced or tested if accuracy is an issue. Following the acquisition of the facility in which the electricity meter is currently used in accordance with the manufacturer's recommendation, the electricity meter is calibrated or replaced when it fails to pass the test.	Monthly	None

Table 2. Project-specific parameters to be fed in

(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)
Parameter	Description of data	Estimated values	Units	Reporting date	Other comments
EF	Reference CO ₂ emission factor of grid and/or captive electricity	0.739	tCO ₂ e/MWh		The default emission factor is derived from the result of the survey on the generation efficiency of major power generation plants in Japan. The default value should be revised if necessary from survey result which is conducted by the JIC or project participants.

Table 3. In-site estimation of CO₂ emission reduction

(1)	(2)	(3)
Category	Reference emission factor	CO ₂ e
Category A	Reference emission factor	CO ₂ e
Category B	Reference emission factor	CO ₂ e
Category C	Reference emission factor	CO ₂ e
Category D	Reference emission factor	CO ₂ e

MoCの項目

プロジェクト参加者（日本及びパートナー国）の
氏名、役職、所属を記入しサイン

Section 2: Nomination of focal point entity

Name of entity: _____
Address (incl. postcode): _____
Telephone: _____ Mobile: _____ Fax: _____
E-mail: _____ Website: _____

Primary authorised signatory:

First name: _____ Last name: _____
Title: _____
Specimen signature: _____ Date: dd/mm/yyyy

Alternate authorised signatory:

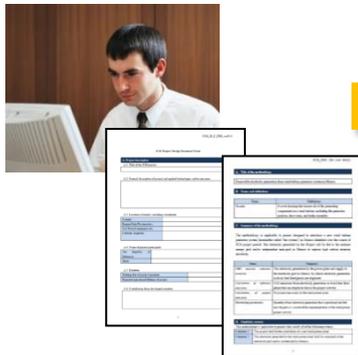
First name: _____ Last name: _____
Title: _____
Specimen signature: _____ Date: dd/mm/yyyy

バリデーションとは

プロジェクト参加者より提出された**PDD**に記載されたプロジェクトについて、JCMガイドライン及び適用する承認済方法論をもとに、**JCMプロジェクトとして妥当かどうかをTPE（第三者機関）が確認**する。

◇主な確認ポイント：

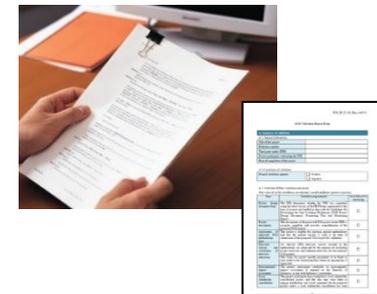
- ・承認済方法論の適格性要件に合致しているか。
- ・導入設備とPDDの記載が一致しているか。
- ・排出削減量（予測値）の算定に承認済方法論が使われているか。
- ・承認済方法論のモニタリング計画に沿っているか。
- ・当該国のEIA制度に準拠したEIAが実施されているか。
- ・LSCが適切に実施されているか（コメントへの対応を含む）。



デスクレビューの実施

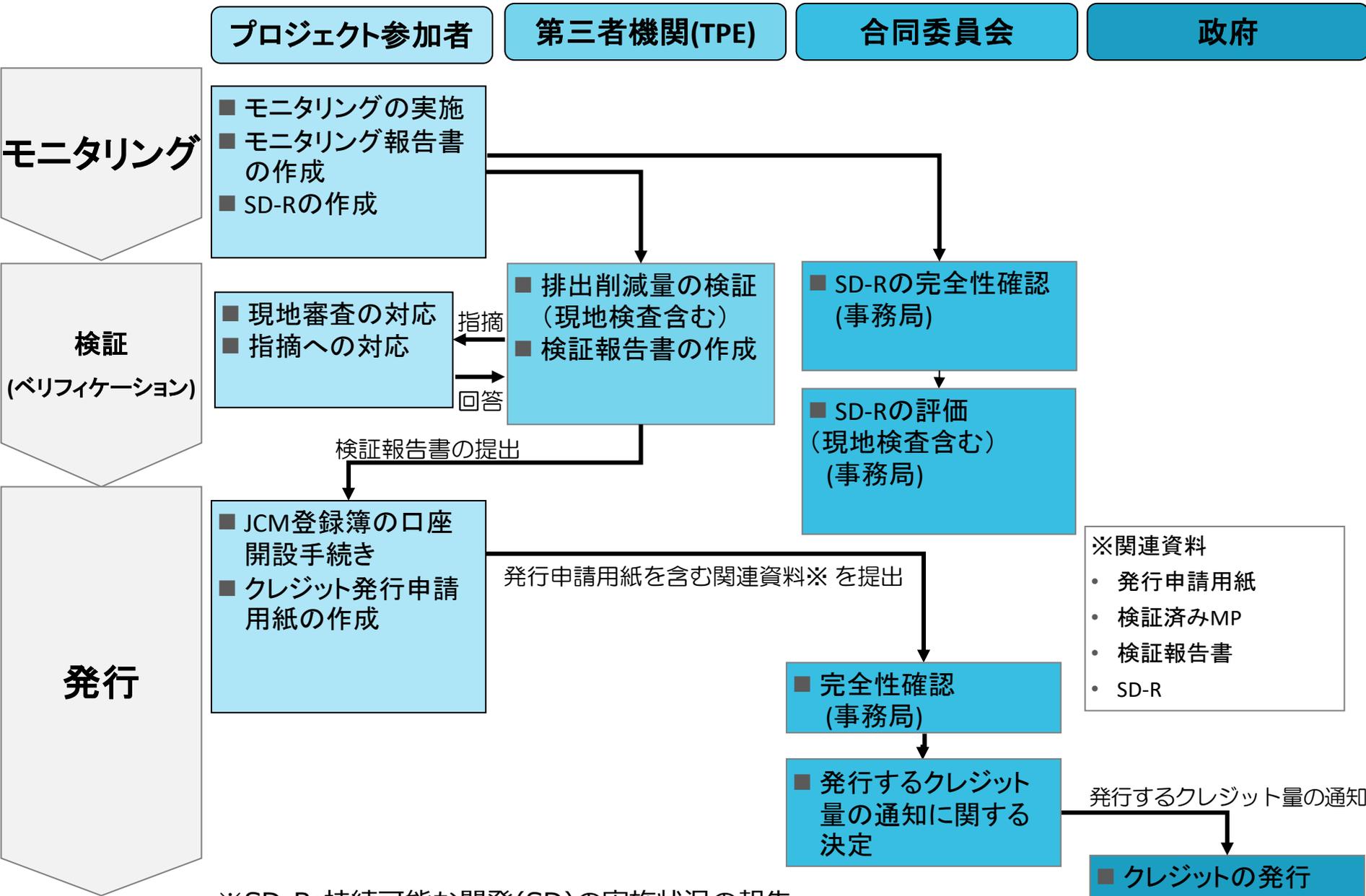


現地審査、インタビューの実施



バリデーション
レポートの完成

4. クレジット発行



※SD-R:持続可能な開発(SD)の実施状況の報告

クレジット発行申請前の実施事項 (Pre-issuance activities)

- プロジェクト実施報告書の提出 (毎年)
- モニタリングの実施
 - ※プロジェクト登録時のモニタリングプランと実施体制に沿って実施
- モニタリングレポートの作成
- TPEによるベリフィケーションの実施
- SD-RについてJC事務局からポジティブな評価を得る。
 - ※SD-R: Sustainable Development Implementation Report
 - ※プロジェクト登録時の持続可能な開発の計画(SD-P)の実施状況を報告

A. Monitored GHG emissions reductions or removals (If the monitoring has started)	
Year	Emission Reductions
yyyy	tCO ₂ e

B. Please describe the status of the project below

プロジェクト実施報告書

ベリフィケーション とは

プロジェクト参加者より提出された**モニタリングレポート**に記載された排出削減量について、JCMガイドライン、承認済方法論及びPDDをもとに、プロジェクトの実施による**排出削減量が正しい**かどうか、**TPE（第三者機関）が検証**する。

◆主な確認ポイント：

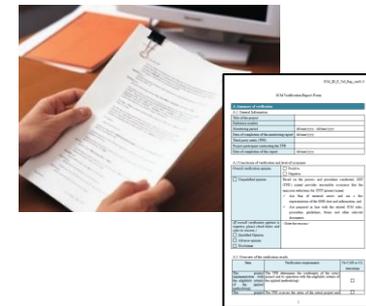
- PDDのモニタリング計画に沿ったモニタリングが行われていたか。
- モニタリングパラメータの記録データが間違いなく、モニタリングレポートに反映されているか。
- 排出削減量に至る算定過程で、スプレッドシートに入力ミスがないか。



デスクレビューの実施



現地審査、インタビューの実施



ベリフィケーションレポートの完成

クレジット発行申請時の提出書類

- クレジット発行申請書
 - ※クレジット配分はプロジェクト登録時の配分に従う
- 検証済みモニタリングレポート
- 検証報告書
- 持続可能な開発の報告(SD-R)
 - ※プロジェクト登録時の持続可能な開発の計画(SD-P)の実施状況を報告

クレジット発行申請後

- JCM事務局による完全性確認の後、JCM合同委員会は各国への発行クレジット量の通知の可否について決定する。
- JCM合同委員会でクレジット量の発行の通知が決定されると、代表事業者及び各国政府に通知されるとともに、JCMウェブサイト公表される。
- クレジット発行量の通知を受け各国政府はクレジットを発行する。

ご清聴
ありがとうございました！

<本件窓口>



公益財団法人地球環境センター
東京事務所

JCMの事前相談: info@jcm.go.jp

政府資金支援事業のうちJCM設備補助事業: info@gec.jp